

放射線測定における環境創造局の取組について

1 大気

(1) 放射線モニタリングポストにおける測定

環境科学研究所屋上での大気中ガンマ線量の測定値は、0.030マイクロシーベルト/h (30ナグレイ/h) 前後で推移し、ほぼ事故前の水準(平成21年度:最小0.020マイクロシーベルト/h～最大0.044マイクロシーベルト/h)に落ち着いています。

11月7日9時の測定値: 0.028マイクロシーベルト/h (28ナグレイ/h)

(2) 地表から50cm及び1mにおける測定

市内3地点(都筑区役所、南部公園緑地事務所、環境科学研究所)で、6月13日から9月10日まで毎日測定していましたが、測定値に大きな変動がなく、数値が落ち着いているため、9月11日以降は週1回の測定としています。

11月1日の測定値: 0.07マイクロシーベルト/h～0.10マイクロシーベルト/h

2 公園等

(1) 公園における測定

6月から8月は、“こどもログハウス”などのある公園を中心に月に2公園、9月から12月は、郊外部にある大規模な公園を中心に、月におおむね4公園で測定しています。

また、9月から、局所的に高い値の放射線量が測定される場所(いわゆるマイクロスポット)の可能性のある場所についても測定し、利用者が立ち入る場所の測定値は、0.59マイクロシーベルト/hを超えていません。

なお、入船公園(鶴見区)において、利用者が立ち入らない管理エリア内の管理棟雨樋から排水を受けていた接続桝の測定をしたところ、上部から1cmでは、0.12マイクロシーベルト/hでしたが、念のため、桝底の土砂面から1cmで測定したところ、0.62マイクロシーベルト/hが計測されたため、土砂を除去しました。土砂の除去後、同じ桝底で測定したところ、測定値は、0.22マイクロシーベルト/hに下がっています。

その他、本市の公園で、市民から情報が提供された場所を市が再測定したところ、0.59マイクロシーベルト/hを超えたところはありませんでした。

また、プレイパークを開催する公園などにおいても、測定を進めています。

(2) 市民の森等における測定

10月から、いわゆるマイクロスポットの可能性のある場所の測定を行っており、現在まで10箇所の樹林地で測定しています。

※ 公園及び市民の森等の測定値は、【別紙】に記載

3 農畜水産物等

(1) 農畜水産物の測定状況

市内の農畜水産物については、3月から神奈川県が測定を開始し、7月からは本市でも横浜ブランド農産物30品目等の農畜産物について、出荷時期に合わせ測定を実施し、いずれも不検出か食品衛生法上の暫定規制値（放射性セシウム：500ベクレル/kg）を下回っています。

米については、9月14日に神奈川県が、横浜市と小田原市の2市で検査し、ヨウ素、セシウムともに不検出との結果を公表しており、県内で生産された米の出荷・販売等の自粛要請が解除されています。

(2) 農用地土壌の測定状況

神奈川県が県内6か所（1か所が横浜市環境活動支援センターの畑）で、5月・7月・9月に測定し、全ての調査地点で、国が示した水田土壌中の放射性セシウム濃度の上限値（5,000ベクレル/kg）を下回っています。

土壌の採取場所	地目	放射性セシウム (134+137)	採土日
横浜市環境活動支援センター (横浜市保土ヶ谷区)	畑(露地)	104ベクレル/kg	5月16日
		126ベクレル/kg	7月25日
		117ベクレル/kg	9月26日

4 下水汚泥

市内2か所の下水道センターで5,034トン（10月31日現在）の放射性物質を含んだ下水汚泥焼却灰を保管しています。現在の放射性物質の濃度は、北部で3,054ベクレル/kg、南部で1,990ベクレル/kgとなっています。

なお、今回、焼却炉の排ガスを測定したところ、不検出でした。

放射性物質濃度

項目	北部下水道センター (焼却灰保管量：1,296t<10/31>) 敷地境界：0.07～0.08マイクロシーベルト/h(10/7)					南部下水道センター (焼却灰保管量：3,738t<10/31>) 敷地境界：0.08マイクロシーベルト/h(10/7)			
	流入下水	放流水	汚泥焼却灰	改良土	※排ガス	流入下水	放流水	汚泥焼却灰	※排ガス
採取日	5月6日	5月6日	10月27日	10月27日	10月13日	5月6日	5月6日	10月25日	10月7日
ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
セシウム134,137	不検出	不検出	3,054	37	不検出	不検出	不検出	1,990	不検出

(単位：ベクレル/kg)

※ 下水汚泥焼却灰の取扱いについては、別途報告

1 公園における空間放射線量測定結果(地表50cmの測定値)(最少0.04~最大0.17マイクロシーベルト/h)

公園名	測定日	最小値	最大値	公園名	測定日	最小値	最大値
綱島公園(港北区)	6/22	0.09	0.10	本郷ふじやま公園(栄区)	9/27	0.04	0.09
瀬谷中央公園(瀬谷区)	6/27	0.06	0.16	こども自然公園(旭区)	9/28	0.05	0.07
踊場公園(戸塚区)	7/14	0.08	0.10	新横浜公園(港北区)	10/12	0.06	0.17
神大寺中央公園(神奈川区)	7/20	0.05	0.11	入船公園(鶴見区)	10/12	0.05	0.11
富岡八幡公園(金沢区)	8/15	0.11	0.15	児童遊園地(保土ヶ谷区)	10/17	0.06	0.07
境之谷公園(西区)	8/19	0.10	0.12	根岸森林公園(中区)	10/19	0.06	0.10
金沢自然公園(金沢区)	9/26	0.05	0.11	保木公園(青葉区)	10/24	0.06	0.08
舞岡公園(戸塚区)	9/27	0.06	0.07				

2 いわゆるマイクロスポットの可能性のある場所での測定値

測定地点: 砂場、ブランコ下、滑り台降り口、落葉のある場所、堆肥置場、花壇、水飲み場、
雨水桝、雨樋下 など (*地表から1cm及び50cmで測定)

(1) 公園(地表1cmの測定値)

(最少0.04~最大0.24マイクロシーベルト/h)

公園名	測定日	最小値	最大値	公園名	測定日	最小値	最大値
金沢自然公園(金沢区)	9/26	0.05	0.24	新横浜公園(港北区)	10/12	0.07	0.18
舞岡公園(戸塚区)	9/27	0.05	0.19	入船公園(鶴見区)	10/12	0.06	0.15
本郷ふじやま公園(栄区)	9/27	0.05	0.23	児童遊園地(保土ヶ谷区)	10/17	0.04	0.09
こども自然公園(旭区)	9/28	0.04	0.16	根岸森林公園(中区)	10/19	0.05	0.17
横浜公園(中区)	10/11	0.06	0.08	保木公園(青葉区)	10/24	0.06	0.14

<プレイパーク>(地表1cmの測定値)

(最少0.04~最大0.39マイクロシーベルト/h)

公園名	測定日	最小値	最大値	公園名	測定日	最小値	最大値
弘明寺公園(南区)	10/21	0.04	0.17	三保念珠坂公園(緑区)	10/27	0.06	0.17
港南台中央公園(港南区)	10/21	0.06	0.20	白根公園(旭区)	10/27	0.05	0.39
洋光台駅前公園(磯子区)	10/21	0.07	0.14	大貫谷公園(旭区)	10/27	0.05	0.20
能見台中央公園(金沢区)	10/21	0.06	0.07	日吉本町鯛ヶ崎公園(港北区)	10/31	0.05	0.09
俣野公園(戸塚区)	10/25	0.05	0.08	本牧なかよし公園(中区)	10/31	0.06	0.10
南台こどものもり公園(瀬谷区)	10/25	0.04	0.11				

(2) 市民の森等(地表1cmの測定値)

(最少0.04~最大0.19マイクロシーベルト/h)

公園名	測定日	最小値	最大値	公園名	測定日	最小値	最大値
横浜自然観察の森(栄区)	10/7	0.04	0.15	鴨居原市民の森(緑区)	10/24	0.07	0.08
釜利谷市民の森(金沢区)	10/14	0.07	0.11	追分市民の森(旭区)	11/1	0.04	0.07
舞岡ふるさとの森(戸塚区)	10/14	0.05	0.11	新治市民の森(緑区)	11/1	0.05	0.09
荒井沢市民の森(栄区)	10/24	0.04	0.19	上矢部ふれあいの樹林(戸塚区)	11/2	0.04	0.06
豊顕寺市民の森(神奈川区)	10/24	0.05	0.06	境木ふれあいの樹林(保土ヶ谷区)	11/2	0.04	0.08

公園で栽培・加工していた乾シイタケの放射性物質検査結果について

このたび、舞岡公園（戸塚区）を管理している指定管理者である「舞岡公園田園・小谷戸の里管理運営委員会」が、自主事業である収穫祭で活用するため、10月に収穫・加工していた乾シイタケの検査を、民間検査機関に依頼したところ、食品衛生法上の暫定規制値を上回る放射能が検出されたとの報告を受けました（セシウム134+137：1,181Bq/kg）。

そこで、同じ検体について、本市で検査を行うとともに、3月下旬から4月上旬に収穫・加工していた乾シイタケが保管されていたので、あわせて本市で検査を行いました。

その結果、食品衛生法上の暫定規制値を上回る放射能濃度が測定されたため、次のとおり報告いたします。

なお、この乾シイタケは市場へ流通するものではありません。しかし、3月下旬に収穫したものについて、一部を炊き出しで登録ボランティアの方々に提供いたしました。この炊き出しで食した登録ボランティアの皆様に対しては、指定管理者から順次連絡をしております。

1 検査結果

- ・公園名 舞岡公園（戸塚区舞岡町1764）
- ・分析対象 乾シイタケ
- ・検査機関 横浜市衛生研究所（磯子区滝頭1-2-17）
- ・検査日 11月3日

単位：ベクレル/kg（Bq/kg）

食品名	ヨウ素 131	セシウム計 (134+137)	備考
①乾シイタケ 10月中旬収穫→10月下旬加工 加工後重量 約 240g	不検出	955	未使用
②乾シイタケ 3月下旬収穫→4月上旬加工 加工後重量 約 2,600g	不検出	2,770	田植え等で登録ボランティアの活動参加者へ炊き出しとして一部提供 ※
食品衛生法上の暫定規制値	2,000	500	

※ この乾シイタケは、計45回の炊き出しを行い、約1,800gを炊き出しの汁物として使用しており、延べ794人が最大2回食しています。

従いまして、1人が1回乾シイタケを2.27g食べたことになり、2回食べたとして大人で0.000197mSv、子どもで0.000140mSvとなります。これは、1日当たりの食品による自然被ばく（内閣府食品安全委員会 引用 年間約0.41mSv）約0.001123mSvの8分の1から6分の1程度です。

※ 栽培地周辺の地表から1cmの放射線量は、0.06～0.08μSv/hであり、市内の他の空間放射線量と同等です。

2 今後の対応

同様の事業を実施している指定管理者等に向けて、乾シイタケの加工について自粛するよう連絡します。

なお、本市内では、現在、乾シイタケを生産・出荷している農家はいらっしゃいませんが、農家の皆様へは、JA横浜・JA田奈と連携し、念のため、乾シイタケの加工・販売は控えるようお願いいたします。

お問い合わせ先			
環境創造局	南部公園緑地事務所長	藤田 辰一郎	Tel 671-3431
	公園緑地管理課長	千葉 廣通	Tel 671-3810
	農業振興課長	杉山 茂久	Tel 671-2606